42 号　編集後記

暖冬だと思っていたら
急に本格的な冬がやってきた。
○
「Go　To　キャンペーン」
の失策によって
新型コロナ蔓延が激増し
日本の行方も不透明である。
なかなか明るい話題も耳にしないが
○
そんな中、
木澤豊の新詩集『燃える街／羊のいる場所』
が出た。木澤の第 10 詩集である。
彼の詩集をプロデュースするのは
第 8 詩集『幻歌』に次いで 2 冊目であるが
前回にもまして、力を込めた。
著者本人もお気に入りの様子。
是非お手にとって読んでいただければ幸いである。
注文は、人間社ＨＰが一番安い。
本号では、新鋭からベテランまで様々な視点から
小特集を組んだ。
○
詩の新しいグループ
「未来詩の ATLAS」を立ち上げた。
関東の「匠の会」と関西の「宵酔月詩」に分かれて
様々なイベントや研究会を組んでゆく予定であるが
まずは、新型コロナの間隙を縫って
マスクメン飲み会を敢行しなければ
ならないだろう。

次号までお元気で。

編集　平居謙